

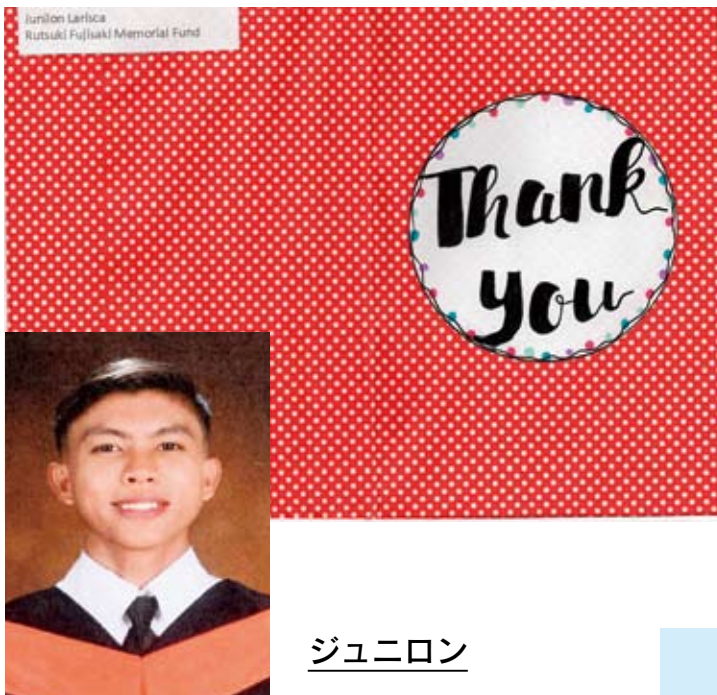


# るつ記記念基金だより

## 感謝の40年

日立教会が1983年に創設した「るつ記記念基金（RFMF）」は今年40周年を迎え、累計で146名の青年の就学を支援することができました。これも、地方の小さな教会のために祈り、支えてくださいました皆さまのご支援の賜物と心から感謝いたします。昨年度支援を終了した8名のうち7名は卒業し希望する進路へと旅立ち、1名は引き続き地域センターの支援を受けて学びを継続します。彼らから届いたハンドメイドの感謝のお手紙の内2通をご紹介します。

どうぞ青年たちのそれぞれの旅路を祝福しお祈りくださいますように。



ジュニロン

私の学業を支援していただきまして、どうもありがとうございます。皆様のご支援を本当にありがたく思っており、感謝の念に堪えません。

卒業後は職を見つけて、資格試験の準備をする予定です。また、貧しい子供達を助けたいという希望も持っています。

皆様の奨学生 ジュニロン



ミカ

皆様が私に与えてくださったことにより、私がどれほど恵まれているのか言葉には尽くせないほど感謝しております。今の私があるのは、皆様のご支援のおかげです。皆様のご支援を無駄にするようなことはいたしません。皆様のご支援を受けて、いつの日か皆様が私にして下さったのと同じように他の人に同じように行なっていきたいという思いを強く持っています。

卒業後は企業に就職する予定です。皆様のご支援に心より感謝を申し上げます。

皆様の奨学生 ミカ



わたしたちの父なる神と御子イエス・キリストから、恵みと平安とが皆様の上に豊かにありますように。

今年、るつ記記念基金は40周年の節目を迎えました。長きに亘り、わたくしども日立教会のプロジェクトの一つである本基金を覚えお祈り下さり、篤き祈りの込められたご献金を賜りましたこと、皆々様に深く感謝と御礼を申し上げます。

わたくしどもの40年の歩みの大半は、チャイルド・ファンド・ジャパンの奨学生支援制度によって進めて参りました。この制度は2022年度で終了し、ノートルダム・ダジャンガス大学への直接支援に移行しました。39年の長きに亘り、るつ記記念基金の活動をお支え戴きましたチャイルド・ファンド・ジャパンに深く感謝申し上げます。まことに有難うございました。

また、シリマン大学神学部の神学生への奨学支援は変わらず実施しております。日本聖書神学校を通して支援を実施しておりますが、神保望校長、荒瀬牧彦教授よりご教示、ご支援を賜りつつ行っております。お支えとお働きに心より感謝申し上げます。

40周年記念事業と致しまして、わたくしども日立教会におきましては、11月19日に桜美林中学校・高等学校校長の堂本陽子牧師を説教者にお招きして礼拝を執り行うほか、40周年記念誌の発行を企画中であり、また、2024年2月中旬に委員等数名で現・元奨学生交流のためにフィリピンを訪問する計画を立てております。これらの集会等の報告は、来年の基金だよりか40周年記念誌に掲載することになるかと思えます。

なお、本年4月より、故・島田進牧師と島田信子牧師の20年に亘る働きを引き継ぎ、小生が日立教会牧師として奉職致しております。小生は北海道札幌市出身で、2008年3月に日本聖書神学校を卒業後、神奈川教区蒔田教会伝道師補（信徒伝道者）・伝道師・副牧師として4年間、関東教区高田教会牧師、同教区新井教会兼務牧師として11年間奉職して参りました。

小生がるつ記記念基金を初めて知ったのは、神学校に入学したちょうど20年前でした。校舎内に設置されている神学生個人のレターボックスに投函されていた基金だよりで、初めてそのプロジェクトを知りました。まことに恥ずかししながら、海で溺れたフィリピンの友人を救助しようとして自身の命を献げた藤崎るつ記さんの存在を知ったのは、それよりずっと後になってからでした。この度、転任に伴い運営に関わることになったことに、「職責上運営に関わるものの全然よくわかっていない自分が関わって果たしてよろしいのだろうか」という戸惑いを覚えると共に、御神の導きの不思議さを感じているところです。

今後とも変わらず、本基金をお覚え下さり、お支えとお祈りのほど、何卒お願い申し上げます。皆々様の上に、主なる神からの祝福が豊かにありますようお祈り申し上げます。



# ノートルダム・ダジャンガス大学年次報告

2022年度から、フィリピン最南部のミンダナオ島ジェネラルサントス市にあるノートルダム・ダジャンガス大学(NDDU)の学生を直接支援する制度が開始され5名の奨学生が与えられました。この度、貧困地域で生活しながら学ぶ青年たちの2022年度の年次報告を大学の奨学金事務局よりいただきましたので、一部紹介いたします。



NOTRE DAME OF DADIANGAS UNIVERSITY  
Marist Avenue, General Santos City



June 30, 2023

Rev. Akinobu Narita  
Chief Pastor  
Hitachi Church

Subject: Annual Report for

Dear Rev. Akinobu Narita

I hope this letter finds you to you the annual report continued to make a remarkable their academic dreams and I am pleased to inform you in the university:

Once again, I extend my continued support and gratitude these young individuals, society.

May God's blessings be

Sincerely,

Alvin Francis B. Ambe  
Scholarship Coordinator  
NDDU Scholarship Office

注記:

- ・年次報告(英文)の一部を割愛編集して翻訳し掲載しました。
- ・従来使用していた大学名中の「ダディアンガス」を発音に合わせて「ダジャンガス」に統一しました。

## るつ記記念基金 (RFMF) 奨学生年次報告書

拝啓 成田顕靖先生には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。NDDUるつ記記念基金(RFMF)の年次報告書をお届けできることを光栄に存じます。この基金は、学生たちが学問の夢を追い求め、明るい未来を切り開くことができることができ、学生たちの人生に大きな影響を与えております。

RFMFの支援を受けた以下の学生が、本学で順調に成長していることをご報告いたします。4名の学生は、アシュリー、マリソル、ヘイゼル、ジョンです。これらの学生は最近、新学期を迎えたところです。そのために、今年度の履修計画を作成しました。彼らの研究分野に対する献身と情熱を目の当たりにし、胸が熱くなります。さらに4人はこれらの学生が自ら率先して奨学金事務局を支援するために奉仕活動を行い、奨学生仲間を助けようとする姿勢を示していることもお知らせしたいと思います。彼らは、必要なときにはいつでも進んで手を差し伸べてくれており、その卓越した人格と責任感を示しています。残念なことに、奨学生の一人であるアンナが奨学金を辞退することになりました。私たちは、奨学生に学業を続けるよう働きかけましたが、彼女の退学の決意は固いままです。そのため、後任としてふさわしい奨学生を探すため適切な措置を講じ、新たにジゼルさんを新たな奨学生に選びました。このような残念な事態を深くおわび申し上げますとともに、今後とも教会の奨学生に対する揺るぎないご支援を切にお願い申し上げます。

RFMFに対する日立教会の献身と支援は、奨学生たちの人生を変える上で重要な役割を果たしてきました。ご参考までに、前学期の奨学生の成績表を添付いたします。これらの成績表は、奨学生の学業における目覚ましい成果と勉学への献身を反映しています。

改めて、皆様をはじめ、日立教会の皆様の継続的なご支援とご厚情に心より感謝申し上げます。私たちは共に、若者たちの人生に大きな影響を与え、社会に積極的に貢献する将来のリーダーへと育てています。

RFMFの皆様と日立教会の皆様には神の祝福がありますように。

敬具

NDDU奨学金事務局・奨学金コーディネーター  
アルビン・フランシス・B・アンベ

## 2023年度新奨学生

今年度の新人は、ノートルダム・ダジャンガス大学のジゼルです。

右の写真は大学の職員が彼女の自宅を訪問した際のもので、今年支援から離れたアンナに代わって選考を経て推薦されました。

学業成績は優秀で特にスポーツに優れています。家族を助け子供たちが学校教育を愛するのを助けるために、体育の学士号を取り将来スポーツ関係の指導者になることを夢見ています。家庭は家族4人で父親は政府系職員。大学から車で4時間の遠隔地にあり、つつましい生活をしています。

シリマン大学からは今後新人が推薦される予定で現在選考中です。



右から、ご両親、ジゼル、大学奨学金担当職員

## NDDU奨学生からのメッセージ



### マリソーレ

2022年度奨学生（医療工学専攻）  
クリスマスメッセージをいただきました。学生生活の様子と決意が頼もしく、うれしいですね！



支援者の皆さま、こんにちは！ クリスマスが間近に迫っておりますので、私の暖かい心と溢れんばかりの感謝の気持ちを込めて、「メリー・メリー・クリスマス！」とご挨拶申し上げます。

支援者の皆さまが末永く、経済的に困窮しながらも卒業を志す人たちに優しさを広げ、教育の機会を与えてくださいますように。また、主がそのために数えきれないほどの祝福を与えてくださいますように。

奨学生の一人として私の勉学を支援し、私の夢を実現する機会を与えてくださったことに心から感謝申し上げます。幸運なことに、私は大学生生活で少しずつ成長し、新しい環境に適応することができるようになりました。実際、10月2日にノートルダム大学のフィリピン医療技術学生協会が実施した作文コンテストに参加し、チャンピオンになりました！私は、大学の学部（医療工学科）の代表のひとりで、特にライティングイベントに学内の代表として参加しています。私は学業面でも良い成績を取っていますが、更なる努力をしなければならないと日々思っています。

支援者の皆さま、私が現在の成績を公表するのは、自分の自慢話をするためではなく、皆さまが奨学生である私に投資してくださっているものを無駄にはしていないということをお伝えするためです。皆さまが多くの人の中から私を選ばれたのですから、私はそれを誇りに思い、ご期待に応えることが出来るように努力致します。

どうもありがとうございます。そして、支援者の皆さまに常に主の御恵がありますように！

2022年クリスマス  
皆様の奨学生 マリソーレ

## 奨学生の現状(心こめて皆さんを応援します)

\*今年度支援する奨学生は8名で、合計160万円の奨学金を贈呈しました。多くの皆さまの温かいご支援で、基金創設以来40年にわたり、累計146名を支援し奨学金累計は3394万円に達しました。

\*奨学生の内訳は、ネグロス島のドウマゲッテイ市にあるシリマン大学神学生3名、ミンダナオ島ジェネラルサントス市にあるノートルダム・ダジャンガス大学の5名です。

\*今年度奨学生8名を以下に紹介します。

### 島別奨学生分布

( ):2023年10月までの累計人員、合計146人。



【凡例】

採用年度

名前(専攻)



2023年度



ジゼル(体育学)



ジョン(生物科学)



マリソーレ(医療工学)



ヘイゼル(医療工学)



アシュリー(初等教育学)

2022年度

2021年度



アビゲイル(神学)



ジェフリー(神学)



ジェリー(神学)

### ◎お陰様で卒業いたしました。

2019年度奨学生のジュニロン、ミカ、カイル、レズが卒業しシリマン大学神学部は2018年度のジョエウインと2019年度のヨナ、ヘセドの3名、計7名が卒業しました。ジョエウインは神学学士号を取得し、ヘセドは大学神学校より学術優秀賞受賞と共に教員免許も取得しました。皆さまの暖かいサポートが卒業生たちの旅立ちに貢献しており、感謝のメッセージをいただいています。

### ◎特記事項：

2019年度のアイバン(土木工学)は引き続き地域団体の支援により学びを継続します。また、2022年度のアンナ(経営管理)は事情により自主退学いたしました。



# インフォメーション

## 茨城キリスト教学園中学校文化祭出展 3年ぶりに開催されました

2002年以来毎年参加させていただいていた文化祭への出展が、コロナ感染症対策として中止となったため2020年、2021年の2年間中断してしまいました。しかし、昨年度文化祭が再開されるに伴い、以前と同様に学園側の温かく熱心なご配慮をいただき出展が可能となり、当日にはご家族や学生の皆さまなど約230名のご来場をいただき感謝いたしました。なお、展示内容は日立教会のホームページに随時更新掲載していますのでご覧ください。



パネル等による解説を熱心にご覧いただきました。

## RFMF創設40周年記念行事計画推進中

### 40周年記念礼拝開催(11月19日(日))

桜美林中学校・高等学校校長の堂本陽子先生をお迎えして記念礼拝を捧げ祝会(昼食会)を開催する予定です。コロナの感染状況によりましては、当日の礼拝や祝会への一般の皆様の参加を受け入れられますので、ご希望の皆さまは教会関係者にお問い合わせください。礼拝の様子は当日10時15分からYou-tubeライブ配信され録画でもご覧になります。

### フィリピン奨学生訪問・交流の旅

2024年2月にマニラや各地の関係者と顔と顔を合わせて集会を持ちたいと願っています。チャイルド・ファンド・ジャパンの皆様のご支援をいただき営為計画中です。覚えてお祈りください。



**堂本陽子(どうもとようこ)先生略歴**  
1998年同志社大学大学院神学研究科前期課程修了(修士)卒業後教会でのご奉仕を経て、2003年から桜美林中学校・高等学校チャプレン、2022年4月に校長に就任されました。

\*委員会から：☆チャイルドファンドの支援からノートルダム・ダジャンガス大学との間の支援プログラムが始まり一年が経過しました。卒業していく学生の思い、新しく奨学生たちの様子、それを支える奨学金事務局のスタッフの熱心な働きをお伝えできたと思います。今年度も皆様のご支援に感謝いたします。

(書記：青野友祐)  
☆3年間の空白の後、委員会に復帰しました。折りしも基金創設40周年。フィリピンの奨学生と献金支援者の皆様。両者を繋ぐチャイルド・ファンド・ジャパンと日本聖書神学校の尊いお働き。当委員会も含め、年月の積み重ねの中でそれぞれが頂いた恵みは計り知れません。「基金便り」と今後の記念行事の中で感謝と喜びを多くの方々と分かち合えますようにと願っています。

(大内田春子)  
☆2023年11月に40周年を迎えるにあたり、この基金だよりの第1号から目を通す機会が与えられました。この間の皆様のご支援と祈りに改めて感謝申し上げるとともに、奨学生の皆さんの様子や真摯な姿勢に心を熱くしました。時が変わり、今はインターネットWebページやライブ動画配信等も活用して皆様への関連情報の提供・共有にも努めたいと思います。(ICT担当：金丸公春)  
☆約40年に及ぶ長い間、フィリピンとの交流を保つことが出来たことは、関係者の皆様のご尽力の賜物であることに間違いありません。しかしながら、最近であれば新型コロナウイルスの感染拡大などの様々な危機に見舞われながらも断絶しなかったのは、イエス・キリストの御導きによるものだと思えてなりません。この恵みに満たされた40年間を未来へ繋げていきたいです。

(副委員長：鈴木大智)  
☆今年度は、シリマン大学とノートルダム・ダジャンガス大学に奨学金をお送りすることが出来ました。基金創設以来40年もの

長きにわたり、フィリピンの志高い学生達に奨学金を送り続けることが出来たのは皆様の変わらない暖かいご支援のおかげです。改めて感謝申し上げます。(会計：菅原卓子)

☆奨学生の所属はチャイルド・ファンド・ジャパン(CFJ)、シリマン大学、ノートルダム・ダジャンガス大学の3か所でしたが、今年度から後の2か所になりました。CFJには奨学生のきめ細かい情報をいただき、安心して奨学生と交流できましたことに感謝しています。RFMFの活動が讃美歌21の566番の「むくいを望ま

で」の主の励ましによると思っております。(百瀬義広)  
☆来年度から基金の長期方針について検討を始めます。この40年間でフィリピン経済は目覚ましく成長し貧困の改善が進んできました。しかし、一方では南部のミンダナオ島などは最貧地域とされ発展途上にあります。私たちに、資金と現地の状況を見極め判断していきたいと思

## るつ記記念基金だより 第39号

2023年11月5日発行

編集：るつ記記念基金委員会  
発行：日本キリスト教団日立教会

〒317-0064 茨城県日立市神峰町4-14-7  
URL <http://hitachi-church.justhpbs.jp>  
TEL 0294-21-4565 FAX 0294-23-3367  
郵便振替 口座番号/00300-9-15365  
日本キリスト教団日立教会るつ記記念基金